

関係各位

(一般社団法人) 医薬品セキュリティ研究会
第9回フォーラム「協賛」についてのごお願い及び会員募集

謹啓 貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成29年1月に、薬局や病院さらには患者に偽造医薬品が流れていた事件が発覚し、偽造医薬品に対する日本の認識が大きく変わりました。また2019年に始まった、新型コロナウイルス感染症の流行の裏で、予防・治療を謳う偽造品や詐欺品が世界中で出回り国際的な規制当局は取締を強化しています。最早、偽造医薬品問題は個人輸入による問題だけではなく、いつの間にか、私たちの生活に迫っており、特に医療に関わる専門家の懸念は一方ならないものです。

今、偽造医薬品はグローバルな健康問題であり、発展途上国はもとより、欧米諸国でも毎年偽造医薬品による、健康被害や死者までがでております。偽造医薬品は元々感染症治療薬が主でしたが、生活習慣に関連する医薬品から、抗がん剤あるいはバイオ医薬品など患者の生命に直結する治療薬に拡がっており、偽造された抗がん剤が他の国で流通していた事例も報告されています。偽造医薬品対策は、偽造医薬品防止の社内体制の整備、税関による水際での摘発、国内外の警察・司法・行政組織の連携、製薬団体等関係団体による世界レベルでの偽造医薬品情報の収集と調査など、多面的な取り組みを必要としています。

平成25年3月に開催されました日本薬学会のシンポジウムにおいて、偽造医薬品の日本の規制当局、国際的取締機関、製薬企業、偽造品防止技術開発企業が一堂に会しました。このシンポジウムの成功を受け、継続的な取り組みとして、製薬企業、偽造防止技術開発企業、アカデミア、公的セクター等がオープンに情報を交換し、議論し、開発・利用の促進に資するとともに世界とも連携できることを目指して、日本薬学会シンポジウムのオーガナイザーを中心として医薬品セキュリティ研究会を立ち上げることとなり、平成25年9月2日に一般社団法人としてスタートしました。

平成25年第1回フォーラム「偽造医薬品と闘う技術の最前線」を皮切りに、第8回フォーラム(令和2年10月)「With コロナの時代の偽造医薬品対策」まで毎年、官公庁、国際機関、製薬企業、流通企業、技術開発企業それぞれのお立場から取組みをご紹介頂き、意見交換や協力がはかられました。

第9回は「コロナ禍における偽造医薬品の脅威」と題し、長びくコロナ禍の中で、一段と勢いが増す偽造薬の実態や対策についてご経験、ご見解を交換して頂き、防御・対策の強化にお役に立つことを願っています。

本フォーラムを更り多きものにするために、皆様の積極的なご参加及び、各社、各団体におかれましては、何卒第9回フォーラムに対してご協賛を賜りますようお願い申し上げます。

更に、本研究会の活動を継続的なものにするために、医薬品セキュリティ研究会の会員募集を引き続き行い、会員間の情報共有、偽造医薬品対策のレベルアップを目指して行きたいと考えておりますので、奮ってご参加いただけますようよろしくお願いいたします。

謹白

<医薬品セキュリティ研究会 フォーラムの軌跡>

- 第1回 2013年9月9日
「偽造医薬品と闘う技術の最前線」
- 第2回 2014年4月18日
「偽造医薬品と闘う技術の最前線2 ―真贋判定技術に求められる要件とは―」
- 第3回 2015年4月14日
「医薬品の流通セキュリティの課題と今後」
- 第4回 2016年9月16日
「グローバル流通する偽造医薬品との闘い」
- 第5回 2017年8月25日
「安全神話の崩壊」
- 第6回 2018年10月19日
「止められるか、偽造医薬品と不正流通」
- 第7回 2019年8月30日
「世界の医薬品セキュリティの動向」
- 第8回 2020年10月23日
「With コロナの時代の偽造医薬品対策」

令和3年7月吉日
(一般社団法人) 医薬品セキュリティ研究会
代表理事 木村 和子
(金沢大学名誉教授、特任教授)